

〔 特 集 〕

きょうだい児支援を考える ～障害や病気のある子どもの兄弟姉妹を支える～



障害や病気のある子どもの兄弟姉妹（以下、きょうだい児）を支援するための絵本『みんなとおなじくできないよ』（日本図書センター、2021）の作者の湯浅正太と申します。私は、きょうだい児という立場で育ち、さまざまな悩みを抱えた少年時代を経て、小児神経科医となりました。

そんな私が医師・親として生きる今、コロナ禍や少子高齢化/人口減少に直面する子どもたちの人生を案じます。なかでも、家庭的な事情を背負い込んでSOSを出せていないかもしれない、「きょうだい児」「ヤングケアラー」といった立場の子どもたちの目に、今の社会はどう映るのだろう、そんなことを思うのです。

この特集では、そんな「きょうだい児」「ヤングケアラー」の姿を多角的な視点で浮き彫りし、社会が彼ら/彼女らにアプローチできるように、私自身がお世話になっているさまざまな立場の方々にご執筆いただきました。おかげで、障害や病気とともに生きる人間同士の温かみが感じられ、支援のヒントが得られる、そんな内容となりました。

最後に、原稿を執筆いただいた皆様、編集部の方々、編集委員の先生方に、この場をお借りして御礼申し上げます。本書が、「きょうだい児」「ヤングケアラー」支援の一助になることを願っております。

（一般社団法人 Yukuri-te 〈ゆくりて〉／
イーズファミリークリニック本八幡 湯浅正太）

